

3月11日の地震で帰宅できずに事務所に泊り込み、翌日土曜日午後によろやく帰宅。忘れられない経験。しばらくして、東京地区が落ち着きを取戻すにつれ、新たな感慨を抱くに至った。そう~~、生きていることの実感。これまで60年も実感を抱くことなく生きてきたことへの思い、生かされてきたことへの思い、ご先祖様への感謝の思いを強くし、これまでかなり先の計画であったお遍路をする思いがこみ上げてきて、3月27日、午前10時頃、鎌倉観音、札所1番、杉本寺に立った。

札所1番だけに、正しく霊場の雰囲気十分。先人(夫人)が暗唱して般若心経を唱えるのに感心。当方、やっとの思いで経らしきお祈りをして受付に回ると、「よく、思い立たれました」の激励の言葉とともに、真白な朱印帳に「発願」の印を頂く。

後は、予定したコースに従って、順次、歩を進めるのみ。

鎌倉駅から最も遠いと思われる光触寺は、法事中、住職留守等で御朱印が簡単にもらえない。今日はどうかと、お邪魔すると、やっぱり留守。引上げようと岐路に付くところ、お墓の向こうに人影。思い切って尋ねると、ご住職でした。作業着を着かえて住職に変身、御朱印帳を受取るや仏前に供えて私一人のために経をあげ、「お参りご苦労さ間」と差し出される御朱印帳、最も恭しく頂戴しました。

明王院では、閉まっていた御堂を奥様がわざわざ開けて下さり、お堂で世間話をしました。壁に地元彫刻家の紹介が、何だろうとみていたら、奥様がこういう仏様を一刀彫で作成している方、と紹介され、早速、気に入ったお地藏様を譲って頂きました。

写真も撮りましたが、最も印象に残ったのは、東慶寺の本堂の枝垂れ桜でしょう。第二が、杉本寺の赤木瓜(梵鐘脇)、宝戒寺の白木蓮(入口、根元にかわいらしいお地藏様)、瑞泉寺の山道(苔蒸した男道、女道)、明王院は本来は写真撮影お断りの表示があるのに、住職様の奥さまの特別の計らいでどういう訳か私一人縦横に写真を撮れました。

4月4日、午後3時30分頃、札所33番佛日庵。お線香を立て、33度目の自分なりのお祈りをして、観音巡りは完遂。「よく、回られました。おめでとう御座います」の言葉とともに、「結願」の御朱印を頂く。

振り返ると、今日は北条時宗の正月命日との表示。またまた粗略にはできず、もう一度、お参りし、最後には出口の建長寺(33観音とは違う)の社務所のおじさんと懇談し、管長手ずからの御朱印を頂きました。「あ、また違うお寺詣りをしなくてはと感じた瞬間でした。」